

NOW2024

Japan Organization of Occupational Health and Safety Kansai Rosai Hospital

Annual Report

良質な医療を働く人々に、地域の人々に、 そして世界の人々のために

病院運営の基本方針

- 1 私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担って、これを推進します。
- 2 私たちは、高度急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- 3 私たちは、患者さんの権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- 4 私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- 5 私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



患者さんの権利と責務

1 適切な医療を受ける権利

患者さんは、尊厳及び人格を尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。

2 「説明と納得」のもとに、医療を選択する権利

患者さんは、病状や医療内容について十分な説明を受け、医療機関、検査・治療方法等を自己の意思で選択することができます。

また、自ら選んだ医療機関でセカンドオピニオンを受けることができます。

3 診療に関する情報開示を求める権利、プライバシーが守られる権利及び個人情報に関する守秘を求める権利

患者さんは、自己の医療上の記録や情報の開示を求めることができます。

また、プライバシーが守られる権利を有するとともに、医療上得られた個人情報は、法的あるいは治療上等の正当な要請のある場合を除き厳守されます。

4 子どもの権利

子どもの権利条約に基づき、子どもの権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）を尊重します。

5 病状等に関する情報提供の責務

患者さんは、当院職員に対して自己の病状や健康に関する正確な情報を提供してください。

6 病院秩序を守る責務

患者さんは、他の患者さんが良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないように協力してください。



Contents

理念・基本方針

患者さんの権利と責務1

■ 病院運営状況

令和6年度の運営方針	病院長 林 紀夫4
令和6年度の重点課題について	副院長 津田 隆之 5
医療連携と良質な高度医療のさらなる推進	副院長 萩原 秀紀6
がん診療のさらなる充実をめざして	副院長 村田 幸平7
臨床倫理・研究倫理を遵守し、医療と臨床研究を活性化します	副院長 伊藤 公彦8
医療の標準化を目指して	副院長 上山 博史9
コロナウィルスとの共存と医師臨床研修の今後	副院長 和泉 雅章 10
救急重症治療について	副院長 真野 敏昭 11
新たな指針を活用して人材確保・育成を	副院長兼看護部長 坪井 幸代 12
病院機能の一層の充実、強化を目指して	事務局長 高橋 清幸 13

■ 病院概要

病院概要 16	主要機器 19	院内のご案内 27
令和5年度の主な出来事 18	主要設備 22	ホスピタルパーク 30
地域への貢献 18	アクセス 24	

■ 各診療科・各部紹介

内科 34	皮膚科 64	重症治療部 87
脳神経内科 38	泌尿器科 65	検査科 88
消化器内科 39	産婦人科 68	病理診断科 91
腫瘍内科 42	遺伝子診療科 71	健康診断部 92
循環器内科 43	眼科 72	中央手術部 93
精神科 46	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 73	医療情報部 94
小児科 47	歯科口腔外科 74	薬剤部 95
外科 48	放射線科・放射線診断科・IVR科・ 核医学診断科・放射線治療科 75	脳卒中センター 97
消化器外科（上部消化器、下部消化器、肝胆膵） 49	リハビリテーション科 81	脊椎内視鏡センター 98
乳腺外科 53	麻酔科 83	がんセンター 99
整形外科・スポーツ整形外科 54	救命救急科 84	化学療法センター 101
形成外科 56	集中治療科 85	緩和ケアセンター 102
脳神経外科・脳神経血管内治療科 57	救急部 86	医療連携総合センター 103
心臓血管外科 60		臨床研修センター 107
呼吸器外科 62		

■ 勤労者医療総合センター・関西労災看護専門学校紹介

勤労者医療総合センターについて	センター長 林 紀夫 110
豊かな人間性を培い、人々の健康に寄与する専門職業人を育む	学校長 津田 隆之 112

■ 臨床業績

1. 患者数	診療科別 上位10疾患 退院患者数（令和5年度） 118	4. 救急医療
過去3年間の患者数等 114	院内がん登録 部位別・治療法別 件数 123	救急患者数推移（時間内・時間外別） 125
入院科別患者数 114	院内がん登録 部位別件数の推移 123	救急患者入院数推移（時間内・時間外別） 125
診療科別新入院患者数・平均在院日数 115	3. 高度医療	救急車搬送患者数推移（外来・入院別） 125
外来科別患者数 115	診療科別診療単価 124	診療科別救急患者数（令和5年度） 125
外来科別初診再診別患者数 116	診療科別手術件数 124	5. 地域医療
2. 疾病構成	麻酔法別件数（令和5年度） 124	診療圏地域別患者構成比（令和5年度） 126
ICD-10 疾病大分類別退院患者数（令和5年度） 117	入院患者におけるリハビリテーション実施率 124	紹介率・紹介件数の推移 126
上位30疾患 退院患者数（令和5年度） 117	外来化学療法加算件数（令和5年度） 125	逆紹介率・逆紹介件数の推移 126
悪性新生物 上位20疾患 退院患者数（令和5年度） 118		

診療情報・問い合わせ先 127